

公告第2647号

2023年度事業報告について、公告いたします。

令和6年7月31日

NXグループ健康保険組合
理事長 佐 竹 陽 一



2023年度事業報告の件

NXグループ健康保険組合

2023年度事業報告(目次)

1. 事業概況

(1) 一般概要

(2) 収支状況

(3) 保健事業

2. 事業主・事業所・被保険者等の状況

3. 保険給付の概要

4. 財産の移動状況

1. 事業概況

(1) 一般概要

2023年度は重点施策として、『加入者の健康の保持増進につながる積極的な支援とサービスの提供』、『加入者の安心と信頼につながる公正で適正な事業運営』、『事業主との積極的連携による、各種取組みの効率化と成果向上』、『新しい広報手段の構築、活用による発信力の向上』、『健保業務のデジタル化、DX化への積極的な対応』、『業務効率化のさらなる推進と人材育成・組織強化』を基本方針に掲げ、具体的には以下の取り組みを行った。

A. 保健事業

最重要課題 『生活習慣病対策』の実効性向上 / **2大テーマ 「肥満対策」「喫煙対策」**

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
肥満	目標		44.0%	43.4%	42.4%	41.4%	40.4%	44.1%
	実績	45.4%	46.0%	47.0%	44.3%	46.1%	46.4%	
喫煙	目標		38.5%	37.5%	36.5%	35.5%	34.5%	24.4%
	実績	39.5%	37.5%	36.2%	35.2%	34.4%	33.9%	

疾病予防および健康の保持増進に資する施策

NO	重点取組項目	実施事項
1	特定保健指導100%実施に向けた環境整備	保健指導員研修会開催、外部委託の活用
2	各ステージに応じた肥満対策の実施、充実	健康道場、ウォーキングラリー開催、カラダリメイクノート配布
3	事業主と連携した実効ある喫煙対策の実施、推進	禁煙キャンペーン、ノスモ禁煙サポートプログラム、禁煙セミナー
4	重症者対策、重症者予防対策の実効向上	未受診者（血圧・血糖・腎機能）への受診勧奨
5	各種ガン検診受診者の増加に向けた諸施策の増進	婦人科（乳がん・子宮頸がん）検診の全額費用補助
6	健康意識の醸成・向上のための諸施策の推進	広報ツールの活用、ポスター告知
7	被扶養者への支援・サービスの強化	特定健診における婦人科検診の全額費用補助
8	データ分析力にもとづく効率的な保健事業の実施と情報発信、提言	Web版の健康情報ポータルサイト公開準備

B. 適用・給付事業

加入者の安心と信頼につながる公正で適正な事業運営

NO	重点取組項目	実施事項
1	公平・公正・迅速な資格審査と保険給付の継続実施 ・加入者の利便の向上と法令等に則った適正な処理	各種届出の処理ルール、リードタイムの明確化
2	医療費適正化に向けた取組みの強化 ・コンプライアンスの推進と財政の健全化	外傷原因調査、レセプト点検、資格更新審査の実施
3	ＩＣＴ化への的確な対応 ・国の施策への的確な対応と事業主との連携強化	システムベンダーとの連携による的確な業務運営 給付業務でのＪ－ＬＩＳ情報の活用推進
4	加入者サービスの向上 ・加入者に寄り添った、わかりやすい正確な情報の提供	ホームページの充実、タイムリーな情報提供

C. 組織運営等

事業主との連携強化と加入者への積極的な事業展開

NO	重点取組項目	実施事項
1	事業主の施策と連携、協働した諸施策の推進	保健指導員研修会開催、連携強化
2	「健康経営」推進に向けた職場環境整備への提言強化 ・事業主との距離を縮め、認識を共有する諸施策の展開	諸施策の情報共有の強化、迅速化 健保事務担当者研修会・交流会の開催
3	加入者への訴求力の向上と積極的かつ能動的な事業展開	新しい広報ツール「Smiles」とＰＨＲ（Personal Health Record）の活用

NXグループ健保における組織強化と人材育成

NO	重点取組項目	実施事項
1	健保事務のさらなる省力化、効率化の推進	法定帳簿のデータによる保存
2	個の成長と組織の活性化に資する諸施策の推進	研修への派遣、ジョブローテーションの実施
3	ホスピタリティあふれる組織の構築に向けた教育と意識改革の実現	電話対応の品質向上

(2) 収支状況

2023年度の一般勘定の収支状況は、収入総額295億56百万円、支出総額284億45百万円、差引残額11億11百万円となり、繰越繰入金や助成金などを除いた経常収支では、1億15百万円となり、3年ぶりの黒字決算となった。

介護勘定の収支状況は、収入総額37億51百万円、支出総額36億56百万円、差引残額95百万円となった。

一般勘定の保険料収入は、総額281億21百万円で、一人当たりの額は526,925円と対前年1.9%増加している。これは、被保険者数が対前年945人減少したものの、標準報酬月額が359,571円と対前年7,257円増加したことによる。なお、標準賞与額は総額で529億67百万円となり、対前年で1億61百万円減少した。

保険給付費は総額155億81百万円(保険料に占める割合55.4%)と、前年度の157億45百万円(保険料に占める割合56.0%)より1億64百万円(▲1.0%)の減となった。給付内容は療養給付費と本人・家族の薬剤支給が増加する一方、家族療養費と高額療養費が減少したが、これは昨年、1件1億76百万円の高額療養費の支給実績があったためである。その特殊要素を除くと、支給項目別には増減があるものの、合計ではほぼ前年と同額となった。なお、被保険者一人当たり年間では、291,940円(対前年比2,060円(0.7%))の増となっている。

高齢者医療制度への納付金・支援金は、111億40百万円(保険料に占める割合39.6%)と、前年度の116億72百万円(保険料に占める割合41.5%)より、5億32百万円(対前年▲4.6%)の減となった。これは、2年前の概算計上と実績との差額精算による戻り額が大きかったことが影響している。

保健事業費は、人間ドック等各種検診の費用増がある一方、一部がん検診の減等により、対前年5百万円減の9億84百万円(対前年▲0.5%)となった。

介護勘定について、保険料収入は一般保険料収入同様、対前年20百万円増加し、繰越金計上も含め、収入合計で対前年77百万円増加した。一方、支出である介護納付金は対前年1億7百万円増加したため、収支差引は95百万円(対前年▲30百万円)となった。

(参考資料)

2023年度 収入支出決算概要(対前年実績)

(単位:千円)

一 般 勘 定					
	科目	2023年度 決算	2022年度 決算	増減	概要(数値は記載内容における対前年増減額 千円単位)
収 入	保険料	28,121,464	28,094,068	27,397	被保険者数の減(▲945人/月)なるも、標準報酬月額増(7,257円/人/月)により収入微増となる。
	* 調整保険料	336,315	341,579	▲ 5,264	調整保険料率は低率(1.19%)のため上記保険料の傾向と相違し、被保険者数減の影響により収入微減となる。
	* 繰越繰入金	0	597,000	▲ 597,000	繰越金はなく、繰入金は収支差引結果により繰入しない。
	(*)国庫補助金 *財政調整事業交付金	511,703	621,390	▲ 109,687	高齢者医療支援金の交付増(+79,795)の一方、高額医療交付金の減(▲190,971 前年高額療養費あり)による。
	(*)その他	586,902	103,176	483,726	各資産売却収入(熱海土地建物、うきは・赤倉土地 +511,500)。前年赤倉温泉権売却・フジタ会員権売却あり(▲53,000)。
	収入合計	29,556,384	29,757,213	▲ 200,829	
支 出	事務所費	372,461	413,902	▲ 41,441	俸給諸給▲14,102(前年退職者1名、2023.12賞与減)、印刷費▲14,432(前年健保事務所移転に伴う保険証発行費用)等による。
	保険給付費	15,580,554	15,744,534	▲ 163,980	前年下期に高額療養費支給あり(家族療養費・家族療養費付加金・高額療養費合計▲176,018)。
	納付金	11,140,044	11,671,726	▲ 531,683	前期高齢者納付金▲885,942、後期高齢者支援金+358,218等
	保健事業費	983,798	988,519	▲ 4,721	特定健診事業費▲3,291、特定保健指導事業費▲6,677、人間ドック・がん健診受診増19,000、肝がん検査▲16,000、等
	* 営繕費	11,064	4,094	6,970	基幹システム改修費用、電話IVR機器導入、等
	(*)その他	357,563	365,367	▲ 7,804	財政調整事業拠出金▲5,274(調整保険料減による)、等
	支出合計	28,445,484	29,188,142	▲ 742,658	
	収支差引	1,110,899	569,070	541,829	
経常収支差引		114,935	▲ 645,850	760,785	

経常収支差引: 収入・支出各々の合計から*印(*)は一部)の科目を除いて集計した収支。繰越繰入金、調整保険料収支や補助金収入の一部、営繕費等が除外科目に該当。

【参考資料】

2023年度 収入支出決算概要(対予算)

(単位:千円)

一 般 勘 定					
	科目	2023年度 決算	2023年度 予算	増減	概要(数値は記載内容における対予算増減額 千円単位)
収 入	保険料	28,121,464	27,744,531	376,933	被保険者数の減(▲281人/月)なるも、標準報酬月額を増(9,671円/人/月)により収入増となる。
	調整保険料	336,315	332,000	4,315	上記同様の傾向による。
	繰越繰入金	0	2,795,000	▲ 2,795,000	予算編成時見込んでいた退職積立金繰入(55,000)と別途積立金繰入(2,740,000)は、収支差引結果見込により繰入しない。
	国庫補助金 財政調整事業交付金	511,703	374,895	136,808	高齢者医療支援金(+164,249)、特定健康診査・保健指導補助金(▲2,957)、出産育児一時金(+2,917)、財政調整事業交付金(高額医療交付金 ▲28,110)等。
	その他	586,902	49,574	537,328	各資産売却収入(熱海土地建物、うきは・赤倉土地 +511,499)計上。給付求償金収入(+28,243)等。
	収入合計	29,556,384	31,296,000	▲ 1,739,616	
支 出	事務所費	372,461	592,120	▲ 219,659	俸給諸給(▲123,569 うち退職手当▲55,000)・借料損料(▲14,809)・社会保険費(▲9,675)は、予算編成時は役職員数増を見込んで計上。備品費消耗品費(▲9,725)はモバイル対応費用等を、雑役務費(▲45,034)はITC化費用等を見込んでいたが、収支状況を鑑み、未実施。
	保険給付費	15,580,554	17,000,000	▲ 1,419,446	予算編成時はコロナ禍の受診控えの反動が継続すると想定し、対前年比7.9%増を見込んでいたが、前年並みの0.1%増で推移した。
	納付金	11,140,044	11,341,600	▲ 201,556	予算編成時に厚労省指示により算出した予算額対比で、前期高齢者納付金▲67,706、後期高齢者支援金▲131,732、日雇拠出金▲1,928となる。
	保健事業費	983,798	1,436,600	▲ 452,802	特定保健指導事業費▲106,977(受診者減)、保健指導宣伝費▲68,082(PepUpポイント還元減、システム改修費用未実施等)、疾病予防費▲270,433(各種がん検診・人間ドックの受診者減)等。
	営繕費	11,064	49,000	▲ 37,936	保養所営繕費用▲5,000、システム改修費用▲32,936(緊急修繕費用等)。
	その他	357,563	876,680	▲ 519,117	財政調整事業拠出金について予算超過(3,384)のため、予備費一部使用(予備費は▲496,616)。補助金等返還支出の減(▲9,948)等。
	支出合計	28,445,484	31,296,000	▲ 2,850,516	
	収支差引	1,110,899	0	1,110,899	

(参考資料)

2023年度 収入支出決算概要(対前年実績)

(単位:千円)

介 護 勘 定					
	科目	2023年度 決算	2022年度 決算	増減	概要(数値は記載内容における対前年増減額 千円単位)
収入	介護保険収入	3,686,872	3,666,465	20,406	被保険者数の減(▲248人/月)なるも、平均標準報酬月額増(5,444円/月/人)により収入増となる。
	繰越金 雑収入	64,022	7,322	56,700	繰越金の増による。
	収入合計	3,750,893	3,673,787	77,106	
支出	介護納付金	3,655,337	3,548,715	106,622	
	その他	518	487	31	
	支出合計	3,655,855	3,549,202	106,653	
	収支差引	95,038	124,585	▲ 29,547	

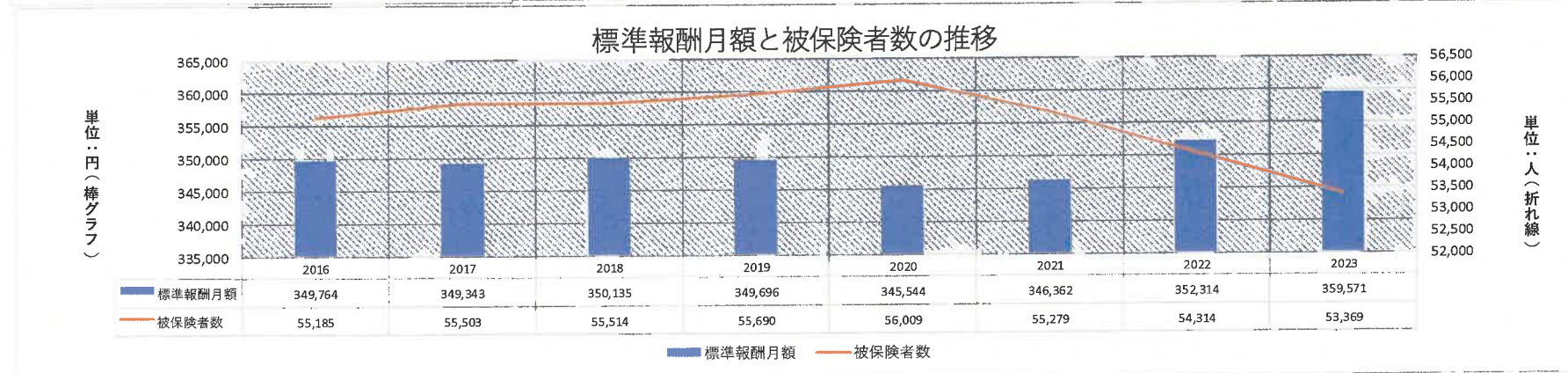
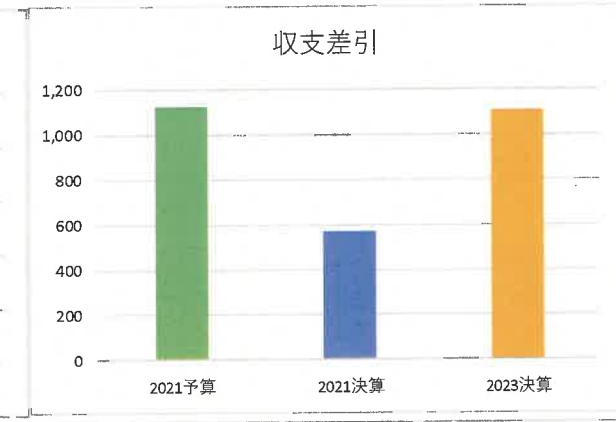
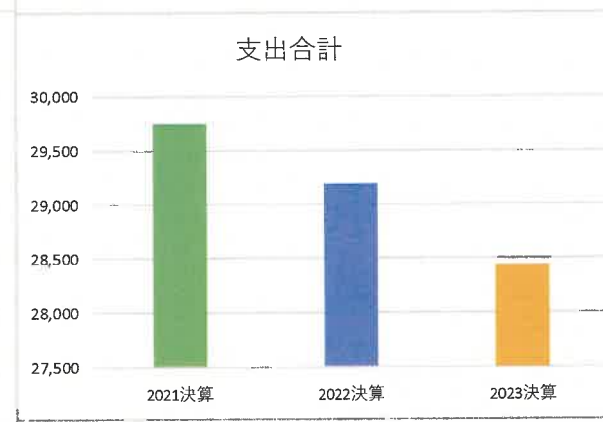
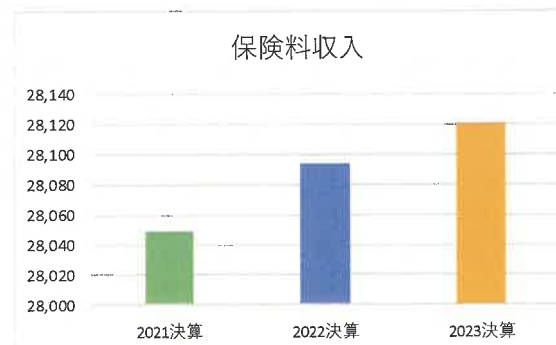
(参考資料)

2023年度 収入支出決算概要(対予算)

(単位:千円)

介 護 勘 定					
	科目	2023年度 決算	2023年度 予算	増減	概要(数値は記載内容における対予算増減額 千円単位)
収入	介護保険収入	3,686,872	3,578,188	108,684	介護第2号被保険者数の対予算増(419人/月)ならびに標準報酬月額増(7,700円/人/月)による。
	繰越金 雑収入	64,022	89,812	▲ 25,790	予算編成時見込んでいた準備金繰入は、収支差引結果見込により繰入しない。
	収入合計	3,750,893	3,668,000	82,893	
支出	介護納付金	3,655,337	3,656,200	▲ 863	
	その他	518	11,800	▲ 11,282	予備費使用なし。
	支出合計	3,655,855	3,668,000	▲ 12,145	
収支差引		95,038	0	95,038	

(単位:特記除き百万円)



保険料収入に占める保険給付費、納付金等の割合を前年度と比較すると、下段の表の通りとなっている。

保険料収入に占める保険給付費・納付金の割合（対前年比較）

（単位：％）

区 分		増 減 率		
		2023年度	2022年度	増減
A	保険料収入に占める保険給付費の割合	55.4	56.0	▲ 0.6
B	保険料収入に占める高齢者医療制度への納付金・支援金等の割合	39.6	41.5	▲ 1.9
A + B	合計（保険料収入に占める保険給付費額＋納付金等の割合）	95.0	97.6	▲ 2.6

過去 10 年間の納付金推移

単位：千円

	前期高齢者納付金		後期高齢者支援金		その他納付金		合計	
2014年度	6,669,074	24.4%	5,726,695	21.0%	1,030,614	3.8%	13,426,383	49.1%
2015年度	5,812,500	20.9%	5,677,359	20.4%	582,033	2.1%	12,071,892	43.5%
2016年度	6,310,211	22.8%	5,531,631	20.0%	366,949	1.3%	12,208,791	44.2%
2017年度	7,003,167	25.2%	5,469,057	19.7%	326,887	1.2%	12,799,111	46.1%
2018年度	5,384,600	19.2%	5,569,922	19.9%	47,735	0.2%	11,002,257	39.2%
2019年度	5,518,253	19.5%	6,043,833	21.4%	14,115	0.0%	11,576,201	41.0%
2020年度	5,784,546	20.7%	6,158,438	22.1%	1,776	0.0%	11,944,760	42.8%
2021年度	6,971,333	24.9%	6,209,546	22.1%	14,112	0.1%	13,194,991	47.0%
2022年度	5,813,235	20.7%	5,851,051	20.8%	7,440	0.0%	11,671,726	41.5%
2023年度	4,927,294	17.5%	6,209,268	22.1%	3,482	0.0%	11,140,044	39.6%
2024年度予算	5,850,000	20.7%	6,501,000	23.0%	8,500	0.0%	12,359,500	43.8%

注1) その他納付金は、病床転換支援金・日雇拋出金・退職者給付拋出金の合計

注2) %表示は、保険料収入に占める割合

3. 保健事業

令和5年度においては、令和4年度と比較しコロナウィルス感染症拡大の影響が緩和され、保健事業は事業計画に基づき実施している。

特定健康診査受診率および特定保健指導実施率は2023年11月に国に提出した法定報告値において、対前年並みとなっている。。がん検診に関しては昨年度から婦人科検診(乳がん検診・子宮頸がん検診)は費用全額補助とし受診しやすい環境を整えたが、大幅な受診率向上にはつながっていない。

生活習慣病予防対策二大テーマ(肥満対策・喫煙対策)については、肥満率に応じた事業の提供、複数の禁煙プログラムの実施等、事業推進をしてきた。禁煙対策では通院型の禁煙達成者率が向上した。

禁煙キャンペーンやウォークラリー、ヘルスリテラシー向上にむけた施策は、事業主とのコラボヘルスにより一定の成果が出ている。特にウォークラリーに関してはPHRシステムを刷新しPepUpを導入したことにより参加者が増加した。

各施策・事業実績は以下項目A～Eの記載の通り。

A. 生活習慣病予防対策事業の実施状況

①特定健康診査実施率 (2022年度分／2023年11月法定報告数値)

	対象	実施者(人)	対象者数(人)	実施率(%)	対前同増減
特定健康診査	被保険者	36,686	37,816	97.0%	▲0.5P
	被扶養者	5,975	12,238	48.8%	3.1P
	合計	42,661	50,054	85.2%	1.0P

②特定保健指導実施率 (2022年度分／2023年11月法定報告数値)

	対象	実施者(人)	対象者数(人)	実施率(%)	対前同増減
特定保健指導	被保険者	5,740	8,284	69.3%	▲0.8P
	被扶養者	18	518	3.5%	2.4P
	合計	5,758	8,802	65.4%	▲0.3P

B. 疾病予防対策事業(各種健診・検診)の実施状況(被保険者)

健診(検診)等 (2023年度実績)				費用補助額	受診(費用補助)対象年齢	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対前同増減
①大腸がん検診	便潜血検査	定期健診	拡充項目	全額	40歳以上	39,552	32,963	83.3%	0.1P
②胃がん検診	バリウム検査	定期健診	法定外健診	2,000円(上限)	40歳以上	39,552	3,574	9.0%	▲0.6P
③胃がんリスク検診	ピロリ菌抗体検査	定期健診	拡充項目	全額	40歳	1,086	1,104	101.7%	0P
④肝炎検査	B型・C型肝炎検査	定期健診	法定外健診	3,000円(上限)	全年齢	17,270	3,999	23.2%	
⑤乳がん検診	X線・超音波検査	定期健診・人間ドック・婦人科検診	法定外健診	6,000円(上限)	30歳以上	7,849	2,264	28.8%	▲0.6P
⑥子宮頸がん検診	細胞診検査	定期健診・人間ドック・婦人科検診	法定外健診	4,000円(上限)	20歳以上	10,133	1,791	17.7%	▲0.1P
⑦人間ドック	健保連1日ドック	人間ドック	法定外健診	7割	35/38/41/44/47/50/53/56/59/62/65歳	14,428	7,660	53.1%	1.1P
⑧脳検査	MRI・MRA検査	人間ドック	法定外健診	20,000円(上限)	同上	14,428	4,770	33.1%	1.1P
⑨インフルエンザ予防接種				2,000円(上限)	全年齢	53,535	24,689	46.1%	▲3.4P

※対象者数:「202303年齢別人員構成表に基づく」/⑦⑧は「ベネフィット・ワン2023年度報告値」に基づく

③胃がんリスク検診の対象年齢:中途採用他対象者増により100%超えの数値となる。対前回は100%と比較

④肝炎検査は2021,2022年度未実施者を対象としているため、対前回数値はなし

C. 生活習慣病予防対策二大テーマ(肥満対策・喫煙対策)

	対象	有所見者(人)	対象者数(人)	有所見率(%)	対前同増減
肥満	被保険者	22,308	48,113	46.4%	0.3P
喫煙	被保険者	16,335	48,094	34.0%	▲0.4P

※2024年6月6日健診データ(ヘルスデータバンク抽出/全年齢)に基づく/ 暫定人数

※肥満算出基準: BMI25以上、または腹囲85cm(男性)・90cm(女性)以上

D. 肥満・喫煙対策、重症化予防対策事業の実施状況

①肥満対策

(A) 肥満度4(高度肥満)対策:「健康道場」をオンライン1日研修として実施

- ・対象者: BMI40以上
- ・内容: 初回および終了時にオンラインにて産業医・管理栄養士・理学療法士による講義3か月間、管理栄養士が参加者ごとに食事習慣・生活習慣の改善をアドバイス

	実施月	実施期間	参加者(人)	状況
第1回	5月～7月	3ヵ月	10	終了
第2回	11月～1月	3ヵ月	1(女性)	終了
第3回	3月～5月	3ヵ月	7	終了

(B) 肥満度1・2・3対策:「からだリメイクノート」配布と「セルフモニタリング」促進

- ・対象者: BMI25以上～40未満
- ・実施回数: 1回(2024年3月)／1,664人
- ・内容: 「からだリメイクノート」を全員に配布し、希望者に体重計配布
1ヵ月間の体重測定(セルフモニタリング)実施者にクオカード進呈

②喫煙対策

(A)禁煙キャンペーン開催

実施時期		プログラム名	参加者(人)	対前同(人)	達成者(人)	達成率(%)
2022年度	第1回 (6～7月)	通院型	13	-9	4	30.8%
		オンライン型	13	-39	5	38.5%
	第2回 (10～11月)	通院型	17	1	1	5.9%
		オンライン型	36	4	12	33.3%
2023年度	第1回 (6～7月)	通院型	23	10	10	43.5%
		オンライン型	25	12	8	32.0%
	第2回 (10～11月)	通院型	23	6	継続中	
		オンライン型	12	-24		

※禁煙キャンペーン参加者数 2023年度計:83名(対前同+4名)

(B)ノンスモ禁煙サポートプログラム(3日間の禁煙体験)案内

実施時期		定員	参加者(人)	対前同(人)
2022年度	第1回(5月)	100名	100	0
	第2回(2月)	111名	56	-55
2023年度	第1回(5月)	100名	68	-32
	第2回(2月)	100名	69	13

※ノンスモ禁煙サポートプログラム参加者数 2023年度計:137名(対前同-19名)

(C)喫煙者向けセミナー開催

- ・対象者:喫煙者、衛生担当者、保健指導員等
- ・実施回数:1回(2022年11月)／約200人視聴－別途アーカイブ配信
- ・内容:中央内科クリニック院長 村松弘康先生によるたばこについて考えるセミナー

③重症化予防策

・血圧、血糖、腎機能の検査結果がハイリスクで、未受診(未治療)の方へ受診勧奨

対象者(人)	血圧	血糖	腎機能	合計
2022年度	340	98	1,340	1,778
2023年度	467	136	1,235	1,838

E. 広報・健康情報の提供、健康増進・教育事業の実施状況

①広報誌「KENPOだより」に替わる加入者専用Webサイトの公開

- ・KENPOだより(紙面版)年4回発行による情報発信から、Webサイト(Smiles!)へ広報仕様の変更(2022年7月～)
- ・特集記事(運動部の方々の健康取組み他・マイナ保険証準備等)、健康情報、投稿記事、コラム等を月2回更新し掲載

②「新みんなの健康ナビ(Pep Up)」の実施(2023年6月～)

- ・ICTを活用した各種健康情報(健康年齢・医療費等)の提供、並びにウォーキングクラリー、やることチャレンジ、健康クイズ、ふれんどウォーク等のイベント実施や、アンケートの参加等で行動を変える、数値改善をする支援を展開
- ・商品券、健康グッズ、他のポイント、寄付などに交換を可能としたポイント付与で参加意識の醸成
- ・2024年3月末日現在、登録者数28,568名 登録率54.2%(旧ナビ登録率25.7%)

年度		時期	参加者数	達成者数	参加者増減	達成者増減	達成率
2019年度	第1回	2019年10月	1,484	532			35.8%
	第2回	2020年3月	1,618	845	134	313	52.2%
2020年度	第1回	2020年10月	1,827	1,125	209	280	61.6%
	第2回	2021年2月	1,831	1,148	4	23	62.7%
2021年度	第1回	2021年6月	2,957	2,012	1,126	864	68.0%
	第2回	2021年10月	4,433	2,966	1,476	954	66.9%
2022年度	第1回	2022年6月	4,751	3,139	318	173	66.1%
	第2回	2022年10月	4,852	3,573	101	434	73.6%
2023年度	第1回	2023年6月	7,166	4,228	2,314	655	59.0%
	第2回	2023年10月	8,300	5,273	1,134	1,045	63.5%

③「ホームドクター24」の実施

- ・身体・メンタルに関する24時間対応の電話・WEB相談、カウンセリング事業
- ・利用者数:1,481件(対前同+172件)

	メンタルヘルス				単位:件
	電話カウンセリング	面談カウンセリング	セカンドオピニオン	受診・治療サポート	合計
2022年度	213	42	38	1,016	1,309
2023年度	227	48	32	1,174	1,481

④介護健康教室

- ・複数の健康保険組合の共同事業で、介護予防や健康増進に関する教室を開催
2022年度は集合教室でコロナ禍のため9人の参加でしたが2023年度はオンライン開催を導入し
参加者数増
単位:人
- ・参加件数:274件(対前同265件)

	集合型		オンライン型		自宅学習 セット	合計
	介護	健康	介護	健康	介護	
人数	8	2	114	110	40	274
小計	10		224		40	

⑤保健指導員研修会(オンライン研修)

- ・日本通運㈱並びに関係会社所属の全国の保健指導員(200余名)を対象2023年
9月、母社と共同開催
- ・特定保健指導等、生活習慣病予防策を中心とした研修を実施し、保健指導員のレベ
ルアップを図る
- ・新規雇用者には定期的(2か月に1回程度)に新人研修を実施

F. その他固定施設の管理運営状況・福祉事業の実施状況

会員制保養所(藤田観光)

2022年10月1日から:フジタパープルメンバーズ

(1年単位418,000円の年会費制/60泊分)

2. 事業主・事業所・被保険者等の状況

種 別		2022年度末	2023年度		2023年度末
			増	減	
事業主数		72	0	13	59
事業所数		123	0	19	104
被保険者数	男	43,316人	4,529人	5,312人	42,533人
	女	10,219人	1,640人	1,528人	10,331人
	計	53,535人	6,169人	6,840人	52,864人
被扶養者数	男	14,397人	1,002人	1,724人	13,675人
	女	28,308人	2,742人	4,149人	26,901人
	計	42,705人	3,744人	5,873人	40,576人
介護保険第2号 被保険者数	男	31,552人	3,496人	3,717人	31,331人
	女	17,692人	2,783人	3,079人	17,396人
	計	49,244人	6,279人	6,796人	48,727人
平均標準報酬月額	男	379,584円	—	—	387,402円
	女	249,584円	—	—	260,652円
	計	354,769円	—	—	362,632円
標準賞与額 (年間合計)	男	46,700,053千円	—	—	45,969,969千円
	女	6,525,482千円	—	—	6,902,651千円
	計	53,225,535千円	—	—	52,872,620千円

3. 保険給付の概要

主な保険給付費実績(本人・家族計)

(単位:千円)

	2023年度	2022年度	増減額	増減率 %
入院	3,269,876	3,560,905	-291,029	-8.2%
外来	5,249,530	4,967,058	282,472	5.7%
歯科	1,329,618	1,588,245	-258,627	-16.3%
療養給付費計(小計)	9,849,024	10,116,208	-267,184	-2.6%
薬剤支給費	2,721,410	2,504,413	216,997	8.7%
高額療養費	1,646,283	1,765,113	-118,830	-6.7%
傷病手当金	326,198	340,460	-14,262	-4.2%
出産育児一時金	195,202	196,634	-1,432	-0.7%
療養費	130,228	118,252	11,976	10.1%
付加給付費	394,600	369,877	24,723	6.7%
その他 ※	317,609	333,577	-15,968	-4.8%
保険給付費計	15,580,554	15,744,534	-163,980	-1.0%

※ 入院時食事療養費、訪問看護療養費、埋葬料、出産手当金 等

① 法 定 給 付

(単位: 件, 千円)

法定給付		2023年度		2022年度		増減率 %	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
A.	療養の給付	453,764	5,632,696	438,903	5,561,714	3.4	1.3
	日数・1日当り金額	645,753日	8,723円	635,267日	8,755円	1.7	-0.4
	1件当り日数・金額	1.42日	12,413円	1.45日	12,672円	-1.7	-2.0
B.	薬剤支給	225,782	1,553,296	212,202	1,415,808	6.4	9.7
C.	入院時食事療養費	3,881	17,459	3,946	17,797	-1.6	-1.9
D.	訪問看護療養費	157	5,537	149	4,691	5.4	18.0
E.	療養費	13,455	64,719	13,032	60,058	3.2	7.8
F.	本人高額療養費	5,971	1,080,261	5,246	1,088,571	13.8	-0.8
G.	合算高額療養費	952	54,578	1,005	54,682	-5.3	-0.2
H.	傷病手当金	2,068	326,198	2,166	340,460	-4.5	-4.2
	日数・1日当り金額	54,455日	5,990円	55,480日	6,137円	-1.8	-2.4
I.	埋葬料	75	3,627	63	3,120	19.0	16.3
J.	出産育児一時金	210	100,261	208	89,787	1.0	11.7
K.	出産手当金	165	19,923	185	24,720	-10.8	-19.4
L.	家族療養費	372,727	4,216,328	359,210	4,554,495	3.8	-7.4
M.	家族薬剤支給	200,088	1,168,114	180,722	1,088,605	10.7	7.3
N.	入院時食事療養費(家族)	2,782	15,118	2,915	15,214	-4.6	-0.6
O.	家族訪問看護療養費	1,149	50,790	992	44,175	15.8	15.0
P.	家族高額療養費	3,245	511,444	3,126	621,859	3.8	-17.8
Q.	第二家族療養費	10,590	65,509	10,437	58,194	1.5	12.6
R.	家族埋葬料	30	1,500	35	1,750	-14.3	-14.3
S.	家族出産育児一時金	201	94,941	258	106,847	-22.1	-11.1

② 付 加 給 付

(単位: 件, 千円)

付加給付		2023年度		2022年度		増減率 %	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
A.	一部負担還元金	8,501	233,037	7,684	217,708	10.6	7.0
B.	合算高額療養付加金	781	38,561	815	37,049	-4.2	4.1
C.	家族療養付加金	3,626	112,634	3,416	114,942	6.1	-2.0
	被保険者数・1人当り金額	53,369人	2,110円	54,313人	2,116円	-1.7	-0.3
D.	訪問看護療養付加金	4	29	0	0		
E.	家族訪問看護療養付加金	20	338	15	177	33.3	91.0

※ A. 一部負担還元金 = 医療機関窓口での本人の自己負担額(診療月ごと)の2万円を超える部分を支給。

B. 合算高額療養付加金 = 合算高額療養費が支給される場合に、世帯の負担限度額から合算対象となった一人につき2万円を超える部分を支給。

C. 家族療養費付加金 = 医療機関窓口での家族の自己負担額(診療月ごと)の2万円を超える部分を支給。

4. 財産の移動状況

①一般勘定

一般勘定									
種別	数量 単位	2022年度末現在		2023年度中移動				2023年度末現在	
				増		減			
		数量	金額または価格	数量	金額または価格	数量	金額または価格	数量	金額または価格
準備金			7,907,350,700		0		0		7,907,350,700
退職手当積立金			240,000,000		0		0		240,000,000
別途積立金			16,371,319,184		309,939,089		0		16,681,258,273
土地	㎡	5,258	7,437,079		0	5,258	7,437,079	0	0
建物	㎡	2,788.48	786,334,424		0	2,788.48	786,334,424	0	0
構築物	点	10	9,669,627		0	10	9,669,627	0	0
権利金	件	24	1,423,593		0	2	410,000	22	1,013,593
機械	点	6	4,099,049		0	6	4,099,049	0	0
什器	点	159	80,969,651	12	10,057,800	68	30,907,490	103	60,119,961
計			25,408,603,307		319,996,889		838,857,669		24,889,742,527

②介護勘定

介護勘定									
種別	数量 単位	2022年度末現在		2023年度中移動				2023年度末現在	
				増		減			
		数量	金額または価格	数量	金額または価格	数量	金額または価格	数量	金額または価格
準備金			1,548,916,764		95,038,069		0		1,643,954,833